

2009.4.16

複素関数論 (理学部、木曜 3 限)

洞 彰人 (大学院多元数理科学研究科・理学部数理学科)

講義方針 シラバス中に教科書として挙げた

楠幸男著: *現代の古典 複素解析* (現代数学社)

にだいたい沿って進みますが、複素関数論の標準的な本なら、おおむね似かよった順序でしょう。講義内容その他はシラバスに記したとおりです。成績評価方法は、中間・期末試験が主、宿題レポートが従です。

講義計画 必ずしも予定どおりに推移できるかどうかはわかりませんが、次のような計画を立てています。

- 4/16 複素数について
- 4/23 正則関数、コーシー・リーマンの方程式
- 4/30 複素級数、初等関数
- 5/07 一次変換
- 5/14 コーシーの積分定理と積分公式 (その 1)
- 5/21 コーシーの積分定理と積分公式 (その 2)
- 5/28 **中間試験**
- 6/04 名大祭のため休み
- 6/11 正則関数の基本性質 (その 1)
- 6/18 正則関数の基本性質 (その 2)
- 6/25 ローラン展開、孤立特異点
- 7/02 留数定理とその応用 (その 1)
- 7/09 留数定理とその応用 (その 2)
- 7/16 解析接続の初歩
- 7/23 (または 7/30) **期末試験**

オフィスアワー 水曜 12:00 から 13:00、洞研究室 (理学部 A 館 4 階 441 号室) にて。4 限にも他の講義を持っていますので、講義直後の質問に応じる時間があまり取れないことをご了承ください。